

学会発表

テーマA: 「増殖シグナルを標的とした革新的がん治療法探索・開発」

- 1) 難波 佑輔、中村 真也、木下 誉富、仲西 功: バーチャルスクリーニング法により得られた化合物の結合様式の妥当性の評価. 日本薬学会第 137 年会(仙台)2017.3.
- 2) 西脇 敬二、出口 貴浩、大東 可苗、畑 悠佑、中村 真也、村田 和也、松田 秀秋、仲西 功: Hydroxychavicol をシードとした XO 阻害化合物の探索研究. 日本薬学会第 137 年会(仙台)2017.3.
- 3) *二宮清文、宮澤聖也、尾関快天、松尾菜都子、村岡 修、菊池 崇山、田中麗子、森川敏生: ブラジル生薬 *Carapa guianensis* 含有リモノイド成分の肝保護作用. 日本薬学会第 137 年会(仙台)2017.3.
- 4) *二宮清文、齋 千明、西田文香、奥川修平、北川仁一郎、吉川雅之、村岡 修、森川敏生: Chakasaponin 類のヒト消化管由来がん細胞に対する細胞増殖抑制活性の構造活性相関. 日本薬学会第 137 年会(仙台)2017.3.
- 5) *長友暁史、西田典永、田中(東)幸雅、吉川雅之、村岡 修、二宮清文、森川敏生: ローズヒップエキス含有成分の肝細胞内中性脂肪代謝促進作用. 日本薬学会第 137 年会(仙台)2017.3.
- 6) *田邊元三、森川敏生、福田梨沙、福田友紀、萬瀬貴昭、二宮清文、松本朋子、眞野みのり、松田久司、村岡 修: タイ天然薬物 *Melodorum fruticosum* 由来 NO 産生抑制活性 Butenolide 類の合成およびその活性評価. 日本薬学会第 137 年会(仙台)2017.3.
- 7) *平 徳久、勝山雄志、吉岡正人、村岡 修、森川敏生: アルキルグリセリルアスコルビン酸誘導体の分子構造とメラニン産生抑制作用. 日本薬学会第 137 年会(仙台)2017.3.
- 8) *二宮清文、加藤和寛、萬瀬貴昭、今川貴仁、松本 拓、岡崎 茜、岡田枝里子、要 欣志、中村 翔、森川敏生: 延命草 (*Isodon trichocarpus*, 地上部) 含有ジテルペノイド成分のメラニン産生抑制活性. 日本農芸化学会 2017 年度大会(京都)2017.3.
- 9) *萬瀬貴昭、安藤恵里、田邊元三、福田梨沙、福田友紀、筒井 望、三宅史織、中屋友紀子、山添晶子、松本朋子、松田久司、二宮清文、村岡 修、森川敏生: タイ天然薬物 *Melodorum fruticosum* 由来成分の NO 産生抑制活性および全合成. 日本農芸化学会 2017 年度大会(京都)2017.3.
- 10) *奥川修平、北川仁一郎、齋 千明、田邊元三、亀井惟頼、二宮清文、吉川雅之、村岡 修、森川敏生: 蓮花 (*Nelumbo nucifera*, 花部) 含有メラニン産生抑制アルカロイド成分を指標とした品質評価. 日本農芸化学会 2017 年度大会(京都)2017.3.
- 11) *二宮清文、柴谷華苗、田邊元三、筒井 望、Chaipech Saowanee, Pongpiriyadacha Yutana, 村岡 修、森川敏生: タイ天然薬物 *Mammea siamensis* 花部のアロマターゼ阻害活性. 日本農芸化学会 2017 年度大会(京都)2017.3.
- 12) 中村 光、柳綾沙美、森下かんな、前川智弘: トリメチルシリルアジドを用いた転位による1,5-二置換テトラゾールの合成. 日本薬学会第137年会(仙台) 2017.3.
- 13) 中村 光、今宮彰良、坂井田楓、三木康義、前川智弘: 超原子価ヨウ素試薬による転位を利用した3-アシルベンゾフランの合成. 日本薬学会第137年会(仙台) 2017.3.

- 14) 山本佐知雄、植田麻希、葛西優貴、木下充弘、鈴木茂生: 酵素固定化アクリルアミドゲルチップを用いる糖タンパク質糖鎖調製法の開発. 日本薬学会第137年会(宮城)2017.3.

テーマB: 「癌増殖シグナル制御機構の解析と抗がん剤標的分子のPOC」

- 1) *椿正寛、武田朋也、友成佳加、眞下恵次、藤原大一郎、阪口勝彦、西田升三: RANK/RANKL を介した多発性骨髄腫での抗がん剤耐性獲得機序. 日本薬学会第 137 回年会(仙台)2017.3.
- 2) *友成佳加、椿正寛、武田朋也、眞下恵次、藤原大一郎、阪口勝彦、西田升三: 多発性骨髄腫でのメルファラン耐性には HIF-1 α の過剰発現が寄与する. 日本薬学会第 137 回年会(仙台)2017.3.
- 3) *西田升三、河本雄一、椿正寛、武田朋也、友成佳加、藤本伸一郎、山添謙: 多発性骨髄腫での NF- κ B 阻害薬 mangiferin と抗がん剤併用による細胞死誘導増強効果. 日本薬学会第 137 回年会(仙台)2017.3.
- 4) *武田朋也、椿正寛、友成佳加、藤本伸一郎、山添謙、西田升三: 新規 NIK 阻害剤 mangiferin 投与による腫瘍増殖・転移抑制効果. 日本薬学会第 137 回年会(仙台)2017.3.
- 5) *坪田真帆、福田亮太郎、関口富美子、宮崎貴也、堂本莉紗、安井洋樹、西田武司、石倉宏恭、西堀正洋、川畑篤史: Oxaliplatin 誘起神経障害性疼痛における HMGB1 とその標的分子の役割:マクロファージ非依存的機序の関与について. 第 90 回日本薬理学会年会(長崎)2017.3.
- 6) *富田詩織、出口智代、関口富美子、坪田真帆、川畑篤史: 抗がん薬ボルテゾミブにより誘起される神経障害性疼痛には Cav3.2 T 型カルシウムチャネルの発現増加が関与する. 第 90 回日本薬理学会年会(長崎)2017.3.
- 7) *川端柚希、坪田真帆、辻田隆一、西堀正洋、川畑篤史. HMGB1 は術後痛に関与する: 第 90 回日本薬理学会年会(長崎)2017.3.
- 8) *林佑亮、坪田真帆、辻田隆一、本田剛一、川畑篤史: トロンボモジュリンアルファの HMGB1 誘起痛覚過敏に対する抑制効果はトロンビンに依存する. 第 90 回日本薬理学会年会(長崎)2017.3.
- 9) *松井和樹、中野真希、石井優子、寺田侑加、坪田真帆、川畑篤史: 結腸痛発症メカニズムの解析:侵害受容ニューロン発現分子 TRPV1、PAR2 および Cav3.2 の役割. 第 90 回日本薬理学会年会(長崎)2017.3.
- 10) *宮本朋佳、坪田真帆、屋馬佐紀、川畑篤史: マウスにおけるシクロホスファミド誘起膀胱炎・膀胱痛は反復寒冷ストレスにより軽減される:ストレスによるマクロファージ機能低下の関与について. 第 90 回日本薬理学会年会(長崎)2017.3.
- 11) *堂本莉紗、山岨大智、山西広樹、関口富美子、坪田真帆、西堀正洋、川畑篤史: パクリタキセルによるマクロファージからの HMGB1 遊離の分子メカニズム:化学療法誘起末梢神経障害の発症における役割. 第 90 回日本薬理学会年会(長崎)2017.3.
- 12) *関口富美子、野田紗友理、大野 董、村田和也、松田秀秋、Nguyen, H.D.、豊岡尚樹、川畑篤史: 新規 T 型 Ca^{2+} チャネル阻害薬 6-prenylnaringenin はカンナビノイド CB1 受容体を介して神経前駆様 NG108-15 細胞の神経突起伸張を促進する. 第 90 回日本薬理学会年会(長崎)2017.3.

テーマC: 「臨床腫瘍検体を用いた創薬シーズのPOC研究と個別化医療」
